

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期	3	2	選択
担当教員			
長尾 亜子			
添付ファイル			
講義概要			
インテリア（内部空間）を事例を通して、内部空間の特性、身体性、地域性、社会環境、産業構造、文化がどのように内部空間に影響しているかを考察し学ぶ。更に、家具、光空間、色彩、材料、スケールなどの諸要素を取り上げ、インテリアデザインの構成要素を学ぶ。 この科目は、建築設計分野の実務経験のある教員が担当する科目である。 本科目はアントレプレナーシップ教育における(キーワード)に該当する内容を扱う。 【キーワード】情報収集力、創造性、分析力、判断力、チャレンジ精神、探究心、実行力、コミュニケーション能力、課題発見力・解決力、マーケティング、マネジメント、産業社会心理学			
授業計画			
01	ガイダンス インテリアデザインとは ・インテリアデザインの学問上の位置づけと建築学科カリキュラムに対する位置づけの説明。 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。(AL1, AL2) 準備学習：参考図書を読む 課題：演習課題1の提示 (AL4)		
02	インテリア（内部空間）の成り立ち一場のデザイン1 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。(AL1, AL2) ・空間の成り立ちとインテリアデザインの間を学ぶ。 ・事例リサーチと分析を発表する。(AL1, AL2, AL5, AL6) 準備学習：事例リサーチおよび分析を行い、演習課題1を行う。(AL4)		
03	インテリア（内部空間）の成り立ち一場のデザイン2 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。(AL1, AL2) ・空間の成り立ちとインテリアデザインの間を学ぶ。 ・演習課題1の案を発表する。(AL1, AL2, AL5, AL6) 準備学習：前回の復習を行い、演習課題1を行う。(AL4)		
04	インテリア（内部空間）の成り立ち一場のデザイン3 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。(AL1, AL2) ・空間の成り立ちとインテリアデザインの間を学ぶ。 ・演習課題1を最終発表する。(AL1, AL2, AL5, AL6) 準備学習：演習課題1を提出する。(AL4)		
05	身体性とインテリア（内部空間）デザインー1 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。(AL1, AL2) ・身体性とインテリアデザインの間を学ぶ。 準備学習：前回の復習を行う。(AL4) 課題：演習課題2の提示 (AL4)		
06	身体性とインテリア（内部空間）デザインー2 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。(AL1, AL2) ・身体性とインテリアデザインの間を学ぶ。 ・事例リサーチと分析を発表する。(AL1, AL2, AL5, AL6) 準備学習：事例リサーチおよび分析を行い、演習課題2を行う。(AL4)		
07	身体性とインテリア（内部空間）デザインー3 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。(AL1, AL2) ・身体性とインテリアデザインの間を学ぶ。 ・演習課題2の案を発表する。(AL1, AL2, AL5, AL6) 準備学習：事例リサーチおよび分析を行い、演習課題2を行う。(AL4)		
08	身体性とインテリア（内部空間）デザインー4 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成と空間の成り立ちを学ぶ。(AL1, AL2) ・身体性とインテリアデザインの間を学ぶ。 ・事例リサーチと分析を発表する。(AL1, AL2, AL5, AL6) 準備学習：事例リサーチおよび分析を行い、演習課題2を行う。(AL4)		
09	身体性とインテリア（内部空間）デザインー5 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成と空間の成り立ちを学ぶ。(AL1, AL2) ・身体性とインテリアデザインの間を学ぶ。 ・演習課題2を最終発表する。(AL1, AL2, AL5, AL6) 準備学習：演習課題2を提出する。(AL4)		
10	産業とインテリアデザインー1 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。(AL1, AL2) ・産業とインテリアデザインの間を学ぶ。 準備学習：前回の復習を行い、参考図書を読む。(AL4) 課題：演習課題3の提示 (AL4)		

	11	産業とインテリアデザイン-2 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。（AL1, AL2） ・産業とインテリアデザインの関係を学ぶ。 ・事例リサーチと分析、演習課題3の案を発表する。（AL1, AL2, AL5, AL6） 準備学習：事例のリサーチと分析を行い、演習課題3を行う。（AL4）
	12	産業とインテリアデザイン-3 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。（AL1, AL2） ・産業とインテリアデザインの関係を学ぶ。 ・演習課題3を最終発表する。（AL1, AL2, AL5, AL6） 準備学習：演習課題3を提出する。（AL4）
	13	地域・環境とインテリアデザイン-1 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。（AL1, AL2） ・地域性、環境、文化とインテリアデザインの関係を学ぶ。 準備学習：前回の復習を行い、参考図書を読む。（AL4） 課題：演習課題4の提示（AL4）
	14	地域・環境とインテリアデザイン-2 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。（AL1, AL2） ・地域性、環境、文化とインテリアデザインの関係を学ぶ。 ・事例リサーチと分析、演習課題4の案を発表する。（AL1, AL2, AL5, AL6） 準備学習：事例のリサーチと分析を行い、演習課題4を行う。（AL4）
	15	地域・環境とインテリアデザイン-3 ・インテリアデザインの事例からデザインの諸要素の構成とインテリア（内部空間）の成り立ちを学ぶ。（AL1, AL2） ・地域性、環境、文化とインテリアデザインの関係を学ぶ。 ・演習課題4を最終発表する。（AL1, AL2, AL5, AL6） 準備学習：演習課題4を提出する。（AL4）
授業形態	講義及び演習、リサーチレポート アクティブラーニング：①：15回、②：15回、③：0回、④：15回、⑤：14回、⑥：14回	
達成目標	1. インテリアデザインの構成要素を学ぶことができる。（基礎） 2. インテリアデザインの事例学習により、体系的なデザインの思考を体得する。（基礎） 3. 演習課題でインテリアデザインの応用を学ぶことができる。（応用） 4. インテリアデザインの事例から、社会環境とデザインの関係性を学習することができる。（応用）	
評価方法・フィードバック	各テーマ毎の演習課題70%、リサーチレポート30%総合成績で評価する。 演習課題についてはフィードバックする。	
評価基準	演習課題とリサーチレポートの総合点による。 秀(1~4)：100~90点、優(1~4)：89~80点、良(1~3)：79~70点、可(1~3)：69~60点、不可：59点以下	
教科書・参考書	教科書：特になし、授業前に資料を配布する。 参考書：世界デザイン史（美術出版社）、モダンデザインの展開（ニコラス・ペブスナー著、みすず書房） インテリアデザインの歴史（ジョン・パイル著、柏書房）日本のインテリアデザイン（大川三雄その他著、柏書房）など随時講義時に紹介する。	
履修条件	・デザインに興味があり、積極的に学習する意欲があること。 ・建築設計演習を履修していること。 ・建築の歴史の基礎的知識があること。日本建築史、西洋建築史、近代建築史を履修していることが望ましい。	
履修上の注意	・不明な点や疑問点は自ら調べて解決していき、発展的学習を行うこと。 ・積極的に学習すること。	
準備学習と課題の内容	・授業時に示された準備学習の内容（1h）を行うこと。 ・授業関連の資料を調べるなどの復習（1h）を行うこと。 ・授業時に示した演習課題（1h）を行うこと。	
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:25%, 思考・判断:25%, 関心・意欲:15%, 態度:10%, 技能・表現:25%	
DP1 知識・理解		
DP2 思考判断		
DP3 関心意欲		
DP4 態度		
DP5 技能・表現		